



## 1 接続したチャンネルのLINE/MICスイッチをLINE ( ) またはMIC ( ) に設定します。

キーボードやオーディオ機器など入力信号のレベルが高い機器を接続したチャンネルは、LINE/MICスイッチをLINE (  ) にします。マイクなど入力信号のレベルが低い機器を接続したチャンネルは、LINE/MICスイッチをMIC (  ) にします。



## 2 コンデンサーマイクを使用する場合は、PHANTOMスイッチをON ( ) にします。



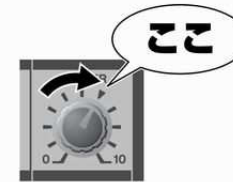
## 3 電源を入れます。

接続した外部機器の電源をすべてONにした後、EMX本体の電源をONにします。パワーアンプ(パワードスピーカー)を接続している場合は、EMX本体の後に電源をONにします。



- ・ファンタム電源が不要なときは、必ずこのスイッチをOFFにしておいてください。
- ・ファンタム電源をONにする場合は、コンデンサーマイク以外の機器がXLRタイプの入力端子に接続されていないことを確認してください。外部機器の故障の原因になります。ただし、バランス型ダイナミックマイクは接続されていても問題ありません。
- ・スピーカー保護のために、パワーアンプ内蔵機器(EMX本体も含む)の電源を切った状態で、ファンタム電源をON/OFFしてください。また、EMX本体のMONITORセクションとMAINセクションのMASTERコントロールを、すべて最小にしておくことをおすすめします。

## 4 MAINセクションのMASTERコントロールを " " に合わせます。



## 5 楽器やマイクで音を出しながら、各チャンネルのLEVELコントロールを調節します。

LEVELメーターの"0"が時々点灯するように、音が入力されているチャンネルのLEVELコントロールを調節します。



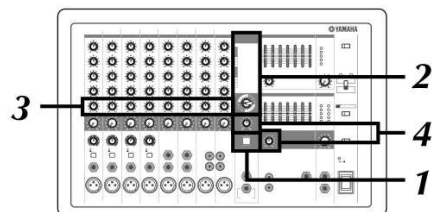
## 6 MAINセクションのMASTERコントロールで全体の音量を調節します。



LIMITERインジケーターが長く点灯し続けると、内蔵アンプやスピーカーを破損する原因となりますのでご注意ください。

## ボーカルにリバーブ（残響音）をかける

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような臨場感を得ることができます。



### 1 ONスイッチをON (■) にします。

ONにすると、スイッチがオレンジ色に点灯します。別売のフットスイッチFC5をFOOT SWITCH端子に接続すると、内蔵エフェクトのON/OFFを足元で切り替えることができます。



### 2 PROGRAM選択ダイヤルでエフェクトを選びます。

たとえば、リバーブなら1から7を選びます。



1	REVERB HALL 1	9	KARAOKE ECHO
2	REVERB HALL 2	10	VOCAL ECHO
3	REVERB ROOM 1	11	CHORUS 1
4	REVERB ROOM 2	12	CHORUS 2
5	REVERB STAGE 1	13	FLANGER
6	REVERB STAGE 2	14	PHASER
7	REVERB PLATE	15	AUTO WAH
8	DRUM AMBIENCE	16	DISTORTION

### 3 エフェクトをかけたいチャンネルのEFFECTコントロールでエフェクトのかけ具合を調節します。



### 4 MAINセクションのEFFECT RTNコントロールで全体のかかり具合を調節します。

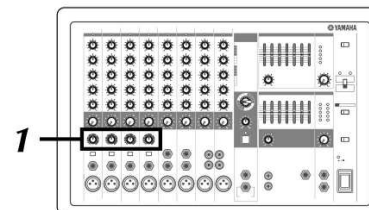


PARAMETERコントロールでリバーブ/ディレイタイムを調整することもできます。



## ボーカルにコンプレッサーをかける (EMX512SC、EMX312SCのみ)

サビなど強く歌っている部分は音量を抑えたり、弱く歌っている部分は音量を持ち上げたりするため、全体的に音が均等に聞こえるようになります。また、一つ一つの音ははっきりするので、歌詞も聞き取りやすくなります。



### 1 コンプレッサーをかけたいチャンネルのCOMPコントロールでかかり具合を調節します。

右に回すとコンプレッサーが強くなります。コンプレッサーをかけすぎるとハウリングしやすくなりますので、少し抑えて設定しましょう。コンプレッサーについて詳しくは、18、21ページをご覧ください。

